

東尋坊(坂井市)

一乗谷(福井市)

恐竜博物館
(勝山市)

参加者
募集の
ご案内

第31回

地域づくり団体 全国研修交流会 福井大会

幸福度No.1日本のまんなか福井から地域力発信
「越山若水」歴史・自然と食が織りなすふるさとづくり

浜焼き鯖
(小浜市)

御清水
(大野市)

コウノトリ
(越前市)

越前水仙(越前海岸)

平成25年

11月16日(土)・17日(日)

■前夜祭/11月15日(金) ■会場/前夜祭・全体会 あわら温泉

主催/地域づくり団体全国協議会・第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会実行委員会・福井県地域づくりネットワーク協議会

後援/総務省・一般財団法人地域活性化センター・財団法人全国市町村振興協会

前夜祭および全体会会場へのアクセス情報



会場

あわら温泉グランディア芳泉「グランディアホール」

あわら市舟津43-26 TEL.0776-77-2555

JR（北陸本線で）※芦原温泉駅より車で約10分

- 大 阪 — 芦原温泉駅（特急約2時間10分）
- 東 京 — 芦原温泉駅（東海道新幹線米原経由
約3時間40分）
- 金 沢 — 芦原温泉駅（特急約40分）
- 名古屋 — 芦原温泉駅（特急約2時間10分）

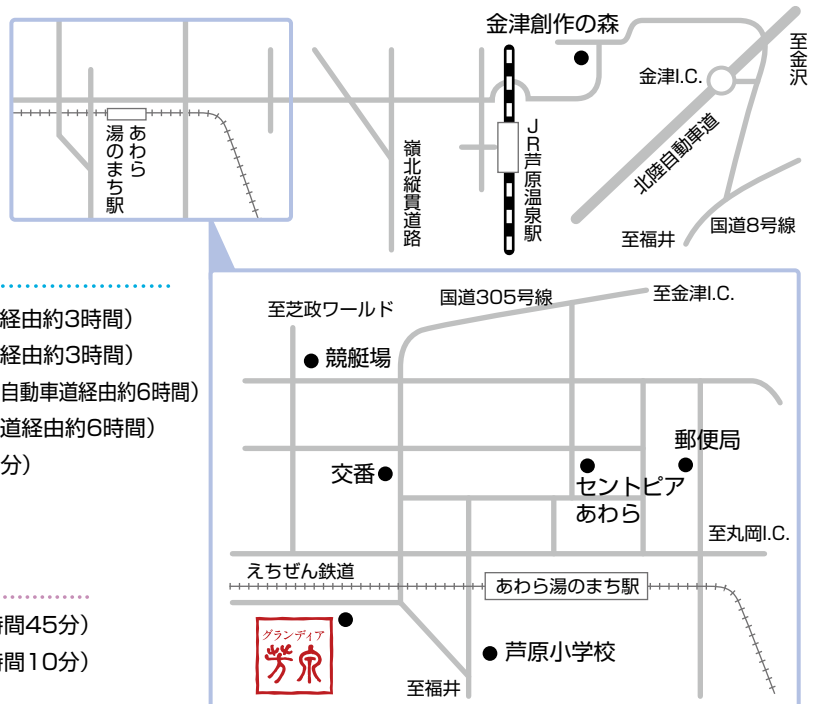
お車で ※金津ICから会場まで約15分

- 大 阪 } (名神・北陸自動車道経由約3時間)
- 名 古 屋 } 米原JCT — 金津I.C (名神・北陸自動車道経由約3時間)
- 東 京 } (名神又は関越道・北陸自動車道経由約6時間)
- 新潟方面 — 長岡JCT — 金津I.C (関越道・北陸自動車道経由約6時間)
- 金 沢 — 金津I.C (北陸自動車道約35分)

飛行機で ※小松空港よりバスおよび電車ご利用。約1時間

- 羽田 — 小松（約1時間）
- 札幌 — 小松（約1時間45分）
- 福岡 — 小松（約1時間25分）
- 那覇 — 小松（約2時間10分）
- 仙台 — 小松（約1時間）

JR芦原温泉駅から、バスにて送迎します。



目 次

開催要領	1	第8分科会 ●鯖江市	13
全体スケジュール	2	地域発・古くて新しい食文化の発信	
分科会紹介	3	～河和田の魅力体験と交流によるまちづくり～	
分科会一覧	5	第9分科会 ●あわら市	14
分科会内容		あわらの魅力、おしえるざあ	
第1分科会 ●福井市(一乗・東郷コース)	6	～地域のたからを生かしたまちづくり～	
戦国ロマンの歴史がたどる悠久の里		第10分科会 ●越前市	15
～いいとこやざ 一乗・東郷いっぺん来てみねの～		越前しらやま発 五感で感じる! ほたるの里の『ほたるカフェ』	
第2分科会 ●福井市(まちなかコース)	7	～地域の宝で拠点づくり～	
昼と夜は別の顔!片町・呉服町の魅力		第11分科会 ●坂井市	16
～城下町からの発展。老舗・職人技を魅せます!その後は…～		帯の町三国湊に残る歴史と文化を活かしたまちづくり	
第3分科会 ●福井市(越前海岸コース)	8	～三国再発見からのまちづくり～	
来て見て越前海岸フェア		第12分科会 ●永平寺町	17
～夕日の美しい越前海岸でのまちづくり～		禅の里永平寺を活かしたまちづくり	
第4分科会 ●敦賀市	9	～心のふるさと 永平寺へようこそ～	
ドラマチックヒストリー つるが鉄道と港の夜明け物語		第13分科会 ●南越前町	18
～敦賀を支えつづける人々の想い～		街道浪漫	
第5分科会 ●小浜市・若狭町	10	～海の道、山の道、里の道～	
伝統的な町並みを活かしたまちづくり		市町紹介	19
～ベンガラ格子が灯る町・小浜西組/鯖街道の宿場町・熊川宿～		参加申し込み先一覧・前泊のご案内	21
第6分科会 ●大野市	11	参加申し込み書	23
ありふれた里地里山をプロデュース		「ふくい 味の週間」について・	
ゆい くに ～結の故郷でつながろう～		あわら温泉宿マップ	24
第7分科会 ●勝山市	12		
人と地域がキラリと光るまちづくり			
～『恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク』からの発信～			

九頭竜川



三国の夕日



熊川宿



第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会

テーマ

幸福度No.1 日本のまんなか福井から地域力発信

～「越山若水」歴史・自然と食が織りなすふるさとづくり～

1 開催趣旨

全国各地で自主的・主体的な地域づくり活動に携わる関係者が一堂に会し、全国レベルの研修・相互の情報交換を行うことにより、地域づくり団体のつながりを深めるとともに、地域住民による主体的な活動の活性化を推進するため、福井大会を開催します。

2 主 催

- 地域づくり団体全国協議会
- 第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会実行委員会
- 福井県地域づくりネットワーク協議会

3 後 援

- 総務省
- 一般財団法人地域活性化センター
- 財団法人全国市町村振興協会

4 開催日

平成25年 **11月16日(土)・17日(日)**

※15日(金)には前夜祭も開催しています。
ぜひ前夜祭からご参加ください。

5 参加対象者

地域づくり団体関係者、行政関係者、地域づくりに関心のある方ならどなたでも参加できます。

6 前夜祭経費 (参加希望者のみ)

4,000円 (宿泊費は含まれておりません)

※15日(金)の宿泊(前泊)希望者は、22ページを参照してください。

7 大会参加費

7,000円

※このほかに16日昼食費(1,000円)・分科会現地経費(宿泊費、夜なべ談義参加費、17日昼食費等)が別途必要になります。詳しくは、各分科会の紹介をご覧ください。

8 参加申込方法および申込期限

(1)参加申込方法

参加申込書(23ページ)に必要事項を記入いただき、郵送またはファクシミリにより、下記の申込先へ送付してください。

対象者	申込先(郵送・ファクシミリ送付先)
地域づくり団体関係者 行政関係者	各都道府県地域づくり団体協議会事務局 (21・22ページを参照)
個人参加者	福井大会参加申込事務局 (あわら温泉情報処おしえる座あ)

(2)申込期限

平成25年 **8月30日(金)** (必着)

(3)参加分科会

参加希望者の状況によっては、やむを得ず参加分科会の調整をさせていただく場合があります。参加希望分科会は、必ず第3希望までご記入ください。

記入がない場合は、どの分科会でも参加可能とさせていただきます。

なお、参加分科会については、平成25年10月上旬頃、各都道府県協議会および参加者本人にご連絡します。

9 参加費等のお支払い

(1)参加申込受付後、大会参加申込事務局より10月上旬頃に参加券、大会参加費等請求書を送付します。

(2)大会参加費・16日昼食費、現地経費(宿泊費、夜なべ談義、17日昼食費等)、前夜祭参加費のお支払いは、事前に銀行振込でお願いします。なお、振込手数料は参加者のご負担となりますのでご了承ください。

(3)参加取消に伴う大会参加費、16日昼食費、現地経費、前夜祭参加費の取消料は、次のとおりです。

取消日	取消料
20日前から8日前まで	20%
7日前から2日前まで	30%
前日	50%
当日または無連絡	100%

全体スケジュール

期 日 ・ 場 所	時 間	内 容
11月15日(金) 前夜祭 あわら温泉 グランディア芳泉	17:00～18:00	前夜祭受付
	18:00～20:00	前夜祭
11月16日(土) 全体会 あわら温泉 グランディア芳泉 昼食・視察 福井県産業会館 分科会 県内13会場	8:30～ 9:00	大会受付
	9:00～10:30	全体会
	10:30～11:30	「ふくい 味の祭典」会場へ移動
	11:30～	昼食・「ふくい 味の祭典」視察
	13:00～	分科会(1日目)
11月17日(日) 分科会 県内13会場	9:00ごろ～	分科会(2日目)

前夜祭

11月15日(金) 18:00～20:00

会場／あわら温泉グランディア芳泉「グランディアホール」
(あわら市舟津43-26 TEL 0776-77-2555)

開会／18:00(受付17:00～) 閉会／20:00

福井県の食材をふんだんに使ったメニューを
ご用意しています。

プログラム内容

- あいさつ
- 郷土芸能披露
- 交流・情報交換
福井の食を楽しみながら、「地域づくり」への思いを語り合しましょう。
- 次回開催県「三重県」からのお知らせ

全体会

11月16日(土) 9:00～10:30

会場／あわら温泉グランディア芳泉「グランディアホール」
(あわら市舟津43-26 TEL 0776-77-2555)

開会／9:00(受付8:30～)

プログラム内容

- 主催者あいさつ／地域づくり団体全国協議会
- 歓迎あいさつ／福井県
- 来賓あいさつ／総務省、一般財団法人地域活性化センター

- 事例発表「ふるさと福井での地域づくり活動」

福井県で育っている活動事例を紹介し、参加者の皆様と地域づくりについて考えます。

- 次回開催県「三重県」からのお知らせ

- 福井大会実行委員長あいさつ

「ふくい 味の祭典」会場(福井県産業会館・福井市)へ移動

- 昼食・視察／11:30～

会場／福井県産業会館(福井市下六条町)

福井県産業会館で開催している「ふくい味の祭典」を視察して頂きます。

「ふくい 味の祭典」は、秋の福井の味覚が
各地から集結する
「ふくい 味の週間」のメインイベントです。



全国に誇れるおいしい福井の食をご賞味ください!

分科会

11月16日(土) 13:00～17日(日)

会場／県内12市町13分科会

福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市
越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、若狭町

(福井市では3分科会、小浜市と若狭町は合同で開催します。)

分科会からの参加を希望される場合は、大会事務局あてにご相談ください。
(分科会のみ参加する場合も、大会参加費7,000円が必要になります。)

分科会紹介



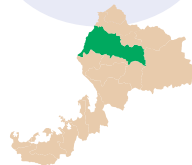
第1分科会

▶P6

戦国ロマンの歴史がたどる悠久の里
～いいとこやざ 一乗・東郷いっぺん来てみねの～

福井市

(一乗・東郷コース)



一乗谷朝倉氏遺跡復原町並

第2分科会

▶P7

昼と夜は別の顔！片町・呉服町の魅力

～城下町からの発展。老舗・職人技を魅せます！その後は…～

福井市

(まちなかコース)



どまんなか祭

第3分科会

▶P8

来て見て越前海岸フェア

～夕日の美しい越前海岸でのまちづくり～

福井市

(越前海岸コース)



越前海岸の夕日

第4分科会

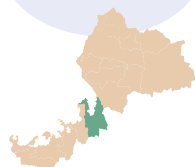
▶P9

ドラマチックヒストリー

つるが鉄道と港の夜明け物語

～敦賀を支えつづける人々の想い～

敦賀市



ロマンチックな雰囲気漂う敦賀みなと

第5分科会

▶P10

伝統的な町並みを活かしたまちづくり

～ベンガラ格子が灯る町・小浜西組/鯖街道の宿場町・熊川宿～

小浜市・
若狭町



小浜西組町並み(三丁町)



熊川宿町並み(下ノ町)

若狭町

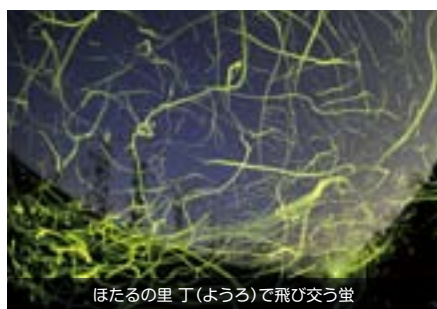


第6分科会

▶P11

ありふれた里地里山をプロデュース
～結の故郷(ゆいのくに)でつながろう～

大野市



ほたるの里 丁(ようろ)で飛び交う蛍

第7分科会

▶P12

人と地域がキラリと光るまちづくり
～『恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク』からの発信～

勝山市



県立恐竜博物館

第8分科会

▶P13

地域発・古くて新しい食文化の発信
～河和田の魅力体験と交流によるまちづくり～

鯖江市



うしの里御膳

第9分科会

▶P14

あわらの魅力、おしえるざあ
～地域のたからを生かしたまちづくり～

あわら市



温泉街夜景

第10分科会

▶P15

越前しらやま発 五感で感じる!ほたるの里の『ほたるカフェ』
～地域の宝で拠点づくり～

越前市



しらやまシスターズ・ブラザーズ

第11分科会

▶P16

帯の町三国湊に残る歴史と文化を活かしたまちづくり
～三国再発見からのまちづくり～

坂井市



旧岸名家

第12分科会

▶P17

禅の里永平寺を活かしたまちづくり
～心のふるさと 永平寺へようこそ～

永平寺町



永平寺 唐門

第13分科会

▶P18

街道浪漫
～海の道、山の道、里の道～

南越前町



木ノ芽峠

福井大会分科会一覧



	分科会名	テーマ	募集人員	現地経費
1	第1分科会 福井市（一乗・東郷コース）	戦国ロマンの歴史がただよう悠久の里 ～いいとこやぞ 一乗・東郷いっぺん来てみねの～	20名	10,000円
2	第2分科会 福井市（まちなかコース）	昼と夜は別の顔！片町・呉服町の魅力 ～城下町からの発展。老舗・職人技を魅せます！その後は…～	20名	10,000円
3	第3分科会 福井市（越前海岸コース）	来て見て越前海岸フェア ～夕日の美しい越前海岸でのまちづくり～	20名	13,000円
4	第4分科会 敦賀市	ドラマチックヒストリー つるが鉄道と港の夜明け物語 ～敦賀を支えつづける人々の想い～	25名	10,000円
5	第5分科会 小浜市・若狭町	伝統的な町並みを活かしたまちづくり ～ベンガラ格子が灯る町・小浜西組/鯖街道の宿場町・熊川宿～	20名	11,000円
6	第6分科会 大野市	ありふれた里地里山をプロデュース ～結の故郷(ゆいのくに)でつなごう～	20名	10,000円
7	第7分科会 勝山市	人と地域がキラリと光るまちづくり ～『恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク』からの発信～	25名	10,000円
8	第8分科会 鯖江市	地域発・古くて新しい食文化の発信 ～河和田の魅力体験と交流によるまちづくり～	20名	11,000円
9	第9分科会 あわら市	あわらの魅力、おしえるざあ ～地域のたからを生かしたまちづくり～	30名	10,000円
10	第10分科会 越前市	越前しらやま発 五感で感じる！ほたるの里の『ほたるカフェ』 ～地域の宝で拠点づくり～	20名	11,000円
11	第11分科会 坂井市	帯の町三国湊に残る歴史と文化を活かしたまちづくり ～三国再発見からのまちづくり～	30名	10,000円
12	第12分科会 永平寺町	禅の里永平寺を活かしたまちづくり ～心のふるさと 永平寺へようこそ～	20名	9,600円
13	第13分科会 南越前町	街道浪漫 ～海の道、山の道、里の道～	25名	10,000円

戦国ロマンの歴史がただよう悠久の里

～いいところやざ 一乗・東郷いっぺん来てみねの～



越前朝倉万灯夜

分科会会場／一乗・東郷地区（一乗谷朝倉氏遺跡周辺）
 宿泊場所／福井の民宿 陣屋（相部屋）
 募集人員／20名 現地経費／10,000円
 内 宿泊費／6,700円（朝食込）
 訳 食事交流会／2,300円 17日昼食／1,000円

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。

- 12:45 東郷・榎山・堂田川散策
- 榎山の山頂から福井平野を眺める
 - 堂田川散策で地酒試飲・とうごうアイス、おつくね餅の振る舞い
- 14:15 県立朝倉氏遺跡資料館見学(説明付き)
 特別史跡 特別名勝 一乗谷朝倉氏遺跡見学
- 感動案内人の説明と当時の着物・甲冑着付け体験、お抹茶と菓子でいっく
- 16:30 一乗谷史跡公園センターレストラン朝倉亭にて意見交換会
 18:00 清流足羽川でとれた天然鮎の塩焼きやしし鍋を囲んでの食事交流会を宿泊先の陣屋にて
 21:00 夜なべ談義

11月17日(日)

- 9:30 福井市立郷土歴史博物館・名勝養浩館庭園を見学
 10:30 分科会合同意見交換会
 福井市分科会(3コース)参加者全員によるワークショップ(参加者自らの実戦経験や、大会の感想を語り合っていました)
 12:30 昼食
 13:20 分科会終了
 JR福井駅周辺にて解散
 ● 到着予定時間／13:30 福井駅

■テーマ紹介

この地域では、一乗と東郷の歴史を脈々と後世に語り伝えることを大切にしています。

また、戦国時代のそのまを伝える極めて貴重な「歴史の証言者」である一乗谷朝倉氏遺跡を整備し、地域を活気づけるため、3つの団体が連携・協力して歴史遺産にちなんだまちおこし活動を実施しています。当時の佇まいや戦国ロマンの歴史を肌で感じながら、440年前にタイムスリップし、昔の食文化・おもてなし・まちおこしについて皆様と語り合しましょう。

■みどころ

まず、戦国時代に築城された東郷城跡の自然たっぷりの榎山山頂から福井平野を眺め、裾野に見える東郷のまちへと足をのびします。まちなかに流れる堂田川沿いを散策しながら、当時の城下町の賑わいを食でもてなします。米どころ東郷の小米餅で作られた「おつくね餅」を醤油で付け焼きして香ばしく食し、地酒を堪能しながらそぞろ歩きます。

その後、中世において唯一にして最大の一乗谷朝倉氏遺跡の空間に立ち、歩いて当時に思いを馳せ、戦国ロマンを満喫していただきます。忠実に復元された武家屋敷では、当時の着物や甲冑の着付けを体験します。夕食には民宿「陣屋」にて、天然鮎やしし鍋の郷土料理を堪能しながら、夜なべ談義を楽しんでいただきます。

2日目は、郷土歴史博物館と名勝養浩館庭園を見学していただき、その後は、福井市の3つの分科会に参加された皆さん、オールキャストによるワークショップを開催します。大会の感想や日ごろの思いをぶつけ合って交流しましょう。

■地域づくり団体紹介

〈朝倉氏遺跡保存協会〉

一乗谷朝倉氏遺跡は、特別史跡・特別名勝・重要文化財と国の三重指定を受けた貴重な歴史の里です。この重要な遺跡を守るため、武家屋敷の復元や景観作り、維持管理に力を注ぎ、大人と子供の語り部を充実させて、百景の遺跡づくりを展開しています。

〈榎山を育てる会〉

水芭蕉や桜・ツツジ・あじさい・かたくりの花など四季折々の草花が楽しめる榎山の整備に取り組んでいます。東郷の榎山から尾根伝いに一乗までの遊歩道をハイキングする「榎山ウォーキング」も好評です。

〈東郷ふるさとおこし協議会〉

住民の絆を深め、まちづくりの要である堂田川沿いの景観を活かし、「おつくね祭」や「せせらぎコンサートとライトアップ」を開催しています。地場の素材を使った特産品が味わえる、より道の駅「こびり庵」も開設しました。一乗・東郷連携のまちおこしは歴史と澄んだ空気・まちなみ・山・谷・川を有効に活用し、戦国ロマンと癒しを感じていただけるまちづくりを進めています。

お問い合わせ先

福井市分科会実行委員会事務局（福井市総合政策室内） 担当／藤田

〒910-8511 福井市大手3丁目10-1 tel:0776-20-5283 fax:0776-20-5768

E-mail:sougou@city.fukui.lg.jp URL:http://www.city.fukui.lg.jp/d120/sougou/index.html

テーマ 昼と夜は別の顔！片町・呉服町の魅力～城下町からの発展。老舗・職人技を魅せます！その後は…～



まち歩き

分科会会場／まちなか周辺（片町・呉服町）
 宿泊場所／エースイン福井（個室）
 募集人員／20名 現地経費／10,000円

内訳	宿泊費	／5,000円（朝食込）
	食事交流会	／3,000円
	まち歩き経費	／1,000円
	17日昼食	／1,000円

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。

- 13:15 どまんな館集合
 13:30 片町・呉服町のまち歩き(2コース設定)
 ①「片町・呉服町 ぶらりつまみ食い」
 ②「片町・呉服町 職人技と体験」
 16:00 どまんな館にて意見交換会
 18:00 御料理「味真乃」にて食事交流会
 (地酒の講習も行います)
 21:00 夜のまち歩き(希望者のみ)
 夜なべ談義

11月17日(日)

- 9:00 ホテル出発
 9:30 福井市立郷土歴史博物館・名勝養浩館庭園を見学
 10:30 分科会合同意見交換会
 福井市分科会(3コース)参加者全員によるワークショップ
 (参加者自らの実戦経験や、大会の感想を語り合っていた
 だきます)
 12:30 昼食
 13:20 分科会終了
 JR福井駅周辺にて解散
 ●到着予定時間／13:30 福井駅

■テーマ紹介

片町・呉服町は福井市のどまんなかにあり、多くの商店が集中している繁華街です。片町・呉服町では、商店街の次世代が集まり、各商店の魅力アップと地域文化・地域経済の活性化、そして新たな発見を目指して「まち歩き」に取り組んでいます。100年以上の歴史がある店舗を訪れ昔から愛されてきた物にふれたり、なかなか見る機会がなく、しかも若くして頑張っている職人の技を目の当たりにできます。地域には歴史があり、その歴史を紐解き目を向けることにより、新たな発見があり地域の魅力と愛着は膨れ上がります。皆さんと一緒に語り明かしましょう。

■みどころ

わがまちの魅力再発見として、ふくい片町青年会が行ってる「まち歩き」を2コース設定します。①コース「片町・呉服町ぶらりつまみ食い」。②コース「片町・呉服町職人技と体験」。

①コースは、この界隈にある老舗の店舗を中心にめぐり、そのお店の商品をつまみ食いしながら巡ります。福井名産の羽二重餅などの和菓子屋、昆布屋のほか三大珍味である塩雲丹をつまみ、また老舗だけではなく、新しいお店も含め5店舗巡ります。

②コースは、職人が多い地域として寿司職人の笹切りや印鑑彫りの職人技の見学、和ろうそくの絵付け体験など、4店舗巡ります。商店街ならではの体感してください。そして、福井県一の夜の繁華街として、オプションになりますがBARや居酒屋にも立ち寄ります。

2日目は、郷土歴史博物館と名勝養浩館庭園を見学していただき、その後は、福井市の3つの分科会に参加された皆さん、オールキャストによるワークショップを開催します。大会の感想や日ごろの思いをぶつけ合って交流しましょう。

■地域づくり団体紹介

〈ふくい片町青年会〉

ふくい片町青年会は、片町商店街の青年会として魅力ある街づくりを掲げ活動しており、「まち歩き」「街コン」「どまんな祭」などを企画運営しています。商店街の住民にとどまらず「片町を愛している」方であれば誰でも会員になることができ、現在は12名の会員で活動しています。また、他団体である福井大学や商工会議所青年部などとも協力し、活動の輪を広げ幅広く片町の魅力を発信しています。

〈NPO法人 農と地域のふれあいネットワーク〉

自然と資源、そして地域と人とを結びます！ 農林水産業の大切さを伝え、かけがえのない資源を守っていききたい。そんな思いで、地産地消を基本とした新しいコミュニティビジネスや、梨や梅の木オーナー事業として育てる楽しさ、農業の厳しさ、果実のおいしさを学ぶ体験学習など、農林水産業に関わる様々な活動を行っています。

お問い合わせ先

福井市分科会実行委員会事務局（福井市総合政策室内） 担当／藤田

〒910-8511 福井市大手3丁目10-1 tel:0776-20-5283 fax:0776-20-5768

E-mail:sougou@city.fukui.lg.jp URL:http://www.city.fukui.lg.jp/d120/sougou/index.html

来て見て越前海岸フェア ～夕日の美しい越前海岸でのまちづくり～



波の華

分科会会場／国見・越前海岸周辺
 宿泊場所／ホテル割烹石丸（相部屋）
 募集人員／20名 現地経費／13,000円
 内訳 宿泊費／12,000円（朝食込）
 食事交流会／（宿泊費に含む）
 17日昼食／1,000円

11月16日(土)

味の祭典会場（福井市）からバスで分科会会場までご案内します。

- 13:30 越前海岸を周遊（殿下地区⇒越廼地区⇒鷹巣地区）
（荒々しく勇壮な景観と、荒波に耐えて凛と咲く越前水仙を楽みください）
- 15:00 ブルーシー鮎川（国見地区）を散策
（夕日が沈む日本海の風景を堪能）
- 16:00 人情味溢れる人たちとの意見交換会
- 18:30 冬の味覚の王様「越前がに」を堪能しながら食事交流会
- 21:00 夜なべ談義

11月17日(日)

- 8:30 福井市の中心市街地へ移動
- 9:30 福井市立郷土歴史博物館・名勝養浩館庭園を見学
- 10:30 分科会合同意見交換会
福井市分科会（3コース）参加者全員によるワークショップ
（参加者自らの実戦経験や、大会の感想を語り合っていました）
- 12:30 昼食
- 13:20 分科会終了
JR福井駅周辺にて解散
- 到着予定時間／13:30 福井駅

■テーマ紹介

越前海岸の夕日はとても美しいです。前は日本海、後ろは国見岳に囲まれた風光明媚なロケーションで、四季を通じていくつもの「自然（タカラ）」を魅せてくれます。

ここでも少子高齢化・人口減少が進んでいますが、老若男女住民一同が今一度地域に目を向け、地域と向かい合いながら活動しています。地域のタカラを再発見し、タカラを活かした人情味溢れる活動により地域が再び動き始めています。

情熱をもって地域と向き合っている人たちと、身近な活動について本音で語り合しましょう。

■みどころ

美しい夕日を眺めながらのデートスポットである「ブルーシー鮎川」や亀が海へと泳ぎだすように見える「亀島」をはじめ、奇石や断崖の続く越前海岸。「神の足跡」「弁慶の洗濯岩」たちが荒々しく勇壮な景観を楽しませてくれます。また、三里（約12km）にもおよぶ砂浜や、日本海に望む断崖に咲き誇る越前水仙は、別名「雪中花」とよばれ冬の風物詩となっています。

日本海の荒波で育まれた、新鮮な海の幸を誇る越前海岸は、どの季節に訪れても、満足できる素材が揃っています。また、海岸線の至る所に温泉が湧き出ている、朝、昼、夜と表情を変える日本海を眺めながら、温泉を楽しめます。海岸線をのんびり散策して、日本海の自然、食、人々の温かさに触れてみませんか。

お約束しました、解禁したての「越前がに」を夕食時にどうぞ！

2日目は、郷土歴史博物館とアメリカの庭園専門誌での日本庭園ランキングで4位に選ばれた名勝養浩館庭園を見学していただき、その後は、福井市の3つの分科会に参加された皆さん、オールキャストによるワークショップを開催します。大会の感想や日ごろの思いをぶつけ合って交流しましょう。

■地域づくり団体紹介

地域への愛着や、地域からの発信のため「来て見て国見フェア」を開催し、海と山に囲まれた地域ならではの催しを展開しています。

〈いきいき国見〉

地域の伝統、伝承行事や芸能を保存・継承していくためのビデオ収録や、真鯛の稚魚放流、地域の特産である越前水仙の球根植付と手入れなどの活動を展開しています。

〈鮎川21〉

地域の生活環境の向上を目的とした清掃活動やシバザクラの植栽、神社の環境整備など、地域に愛着を持ってもらえるような活動に取り組んでいます。

お問い合わせ先

福井市分科会実行委員会事務局（福井市総合政策室内） 担当／藤田

〒910-8511 福井市大手3丁目10-1 tel:0776-20-5283 fax:0776-20-5768

E-mail:sougou@city.fukui.lg.jp URL:http://www.city.fukui.lg.jp/d120/sougou/index.html

つるが鉄道と港の夜明け物語

～敦賀を支えつづける人々の想い～

ドラマチックヒストリー



「人道の港 敦賀ムゼウム」

分科会会場／敦賀市中心部（金ヶ崎周辺ほか）
 宿泊場所／東横イン（個室）
 募集人員／25名 現地経費／10,000円

内訳	宿泊費	／5,480円（朝食込）
	食事交流費	／3,520円
	17日昼食	／1,000円

11月16日(土)

味の祭典会場（福井市）からバスで分科会会場までご案内します。

- 12:30 味の祭典会場 出発
 14:00 活動紹介 敦賀駅周辺のまちづくり
 14:40 金ヶ崎周辺散策
 （鉄道と港のまち敦賀の今昔を体感していただきます。）
- 鉄道資料館見学
 - 人道の港敦賀ムゼウム
 - 赤レンガ倉庫
- 16:00 意見交換会（敦賀フェリーターミナル内）
 17:30 食事交流会（敦賀フェリーターミナル内）

11月17日(日)

- 9:00 敦賀市中心市街地まち歩き
- 敦賀シンボルロード散策
 - 北陸道総鎮守 氣比神宮
 - 門前町 神楽1丁目商店街散策
- 10:40 活動紹介 舟溜り地区のまちづくり
- 舟溜り地区散策
- 11:45 昼食 ソースカツ丼
 終了後、J R敦賀駅までお送りします。
- 到着予定時間／12:40 J R敦賀駅

■テーマ紹介

鉄道と港のまちとして栄え、海路と陸路の中継地点「東洋の波止場」と呼ばれた敦賀が歩んだ歴史や文化に触れながら、敦賀が最も活気にあふれ、輝いていた明治後期～昭和初期のノスタルジックな雰囲気を感じていただきたいと思います。ぜひご参加ください。

■みどころ

【金ヶ崎周辺地区】

- 「赤レンガ倉庫」「ランプ小屋」：現存する豊富な歴史的建造物が往時の「鉄道と港のまち敦賀」を今に伝えています。
- 「人道の港敦賀ムゼウム」：敦賀だからこそ伝えられる「命」と「平和」のメッセージがここにあります。

【舟溜り地区】

- 「歴史的な町並み」「商業の再生」：港まち敦賀を支えてきた商店街の再生に向けた活動を紹介します。

【敦賀駅前～氣比神宮エリア】

- 「敦賀シンボルロード」：商店街を彩る松本零士作品（銀河鉄道999、宇宙戦艦ヤマト）のモニュメントロードを散策します。

【意見交換会・夕食交流会】

- 敦賀湾に沈む夕日と、敦賀の発展を支える港湾施設の展望が可能なお会場をご用意しました。特別な時間をお過ごしください。

■地域づくり団体紹介

＜「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会＞

2012年、敦賀市は敦賀—長浜間鉄道開通130周年、敦賀—ウラジオストク定期航路開設110周年、欧亜国際連絡列車運行100周年といった、鉄道と港に関するメモリアルイヤーを迎えました。

これを契機に、私たちは、市内各地で様々なイベントを行っている団体等と連携し、新規・既存のイベントに鉄道開通記念等の統一テーマを付加することによって、港まち敦賀の歴史と文化の再認識を促すとともに各事業の連携を図りながら、年間を通じた一体感のあるまちづくり活動を行うことを目的に団体を発足しました。

今後も継続して活動していくことにより、「鉄道と港のまち敦賀」をテーマにしたまちづくりに対する意識を市民のみなさんと一緒に高めていきたいと考えています。



つるが「鉄道と港」フェスティバル
 今年は8月2日から開催します。

お問い合わせ先

敦賀市分科会実行委員会事務局（敦賀市企画政策部政策推進課内） 担当／原田・杉村

〒914-8501 敦賀市中央町2丁目1番1号 tel:0770-22-8111 fax:0770-23-4129

E-mail:seisaku@ton21.ne.jp URL:https://www.facebook.com/t.tetsudou.to.minato

テーマ 伝統的な町並みを活かしたまちづくり ～ベンガラ格子が灯る町・小浜西組/鯖街道の宿場町・熊川宿～



三丁町での町家deフェスタ(小浜西組)



白石神社の山車巡行(熊川宿)

分科会会場／小浜市小浜西組・若狭町熊川宿
宿泊場所／ホテルアーバンポート(相部屋)
募集人員／20名 現地経費／11,000円
内 宿泊費／5,310円(朝食込)
訳 食事交流会／4,550円 17日昼食／1,140円

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。
12:45 味の祭典会場(福井市)バス出発
15:00 視察研修(小浜西組)鯖街道起点・町並み・資料館などを見学
16:30 事例発表・意見交換会(小浜西組)常高寺本堂 活動紹介
17:30 夜の散策(小浜西組)三丁町 活動紹介
18:00 宿泊先(小浜市)到着
19:00 食事交流会

11月17日(日)

8:00 朝食宿泊先(小浜市)バス出発
8:30 視察研修(若狭町・熊川宿)
●町並み・資料館・旧逸見勘兵衛家・熊川番所などを見学、活動紹介
11:30 昼食(若狭町・熊川宿)
13:00 分科会終了
終了後、JR敦賀駅までお送りします。京都方面は若狭熊川からJRバスに乗り、JR湖西線近江今津から新快速をご利用ください。
●到着予定時間／14:00 JR北陸本線敦賀駅

■テーマ紹介

県内でも伝統的な町並みが残る小浜市小浜西組地区(商家町・茶屋町)、若狭町熊川宿(宿場町)は、国の文化財・重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、これらの町並みを守り、活かすため、小浜西組町並み協議会と若狭熊川宿まちづくり特別委員会は様々な活動に取り組んでいます。

分科会では、両住民団体の活動紹介とともに、江戸時代、小浜城を中心とした町人地の一部で、丹後街道を中心に育まれた町並みが残る小浜西組と、若狭湾から水揚げされた鯖を京都まで運んだ鯖街道沿いに平入と妻入の町家が軒を連ねる熊川宿という2つの重伝建の町並みが散策できる一挙両得のプランです。

■みどころ

県内で2ヶ所のみ重伝建を視察できます。

小浜西組は、細長い短冊型の敷地に町家・茶屋や土蔵が並び、後瀬山麓に並び寺社と国登録文化財の西洋建築で構成され、熊川宿は、町家の間に土蔵が混じり、平入・妻入、真壁造・塗込造の建物が混在し、水路の芋洗い器などの生活が溶け込んだ町並みも見られます。

視察研修・事例発表会では、伝統的な町並みを活かすという同じ目的を持った2団体の取組みに加え「全国的な課題である空き家対策や防災意識の向上対策」も違う切り口で取り組んでいるので、参加者の皆さんの地域の実情に合わせて参考にしていただければと思います。

交流会では、地元の伝統文化公演と食を楽しめます。

■地域づくり団体紹介

〈小浜西組町並み協議会〉

小浜西組町並み協議会は、平成7年に小浜西組地区の8つの自治会から構成された団体で、マップ作成、看板設置等を行い、伝統的な町並みの保存に対する地区住民の理解を深めてきました。活動する中で組織を見直し、平成20年、重伝建選定を機に、事務局を市から独立させ、行灯を各戸に設置する一門一灯運動や町並み月報の発行等、自ら活動を展開しています。

〈若狭熊川宿まちづくり特別委員会〉

若狭熊川宿まちづくり特別委員会の発足は、昭和56年の「町並みを守る会」にさかのぼります。平成7年に現在の名称に変更し、町並み保存の意思統一をはかるための講演会や視察研修を実施してきました。「町並み通信」の発行、ホームページの運営などの広報活動や美化活動等にも積極的に取り組んでいます。当会を生みの親とする多くの団体が多彩な活動を展開しており、昨年2月には国土交通省の「手づくり郷土賞(大賞部門)」を受賞しました。

お問い合わせ先

小浜市・若狭町分科会実行委員会事務局(小浜市教育委員会文化課内) 担当/松澤

〒917-8585 小浜市大手町6-3 tel:0770-53-1111(内線445) fax:0770-52-3223

E-mail:rekishi@city.obama.lg.jp URL:http://www1.city.obama.fukui.jp/

ありふれた里地里山をプロデュース

～ 結の故郷でつながろう～



大野市内の里地里山の風景

分科会会場／和泉地区（フレアール和泉ほか）

宿泊場所／ホテルフレアール和泉（相部屋）

募集人員／20名 現地経費／10,000円

内 宿泊費／6,000円（朝食込） 食事交流会／3,000円

訳 17日体験料／1,000円（昼食込）

11月16日(土)

味の祭典会場（福井市）からバスで分科会会場までご案内します。

※全体会に到着が遅れる参加者は、バスの乗車方法等をご相談します。事務局までお問合せ下さい。

13:00 味の祭典会場 出発

13:40 現地視察

● 矢集落、上丁集落の里地里山プロデュース

16:10 事例発表・意見交換会

● ほたるの里丁、矢環境緑化実行委員会、九頭竜楽しみ隊

18:20 食事交流会

20:30 夜なべ談義 ※自由参加

11月17日(日)

8:30 越前おおの自然体験（2コース設定）

①サイクリング体験コース

『自転車で九頭竜川の源流域“和泉地区”をサイクリング』

②食文化体験コース

『“穴馬カブラ”収穫・調理体験、和泉地区内の食文化を見学』

12:00 体験実施前と実施後にストレスチェックを実施

※ストレスチェック：専用のチェック表を用い、自然に触れ合うことで、どの程度ストレスが和らぐのかを確認します。

12:40 昼食（2グループ合流）

終了後、JR福井駅までお送りします。

● 到着予定時間／14:00 JR福井駅

■テーマ紹介

大野市は、福井県内で最大の市域面積を持ち、その約87%を森林が占めます。街の周囲には日本百名山荒島岳を始め美しい山々がそびえ、ふもとには多くの里地里山があります。そこで暮らしを営んでいる方々が、自ら地域を見つめ直し、それら里地里山の資源をどのように「プロデュースしていくか」をテーマとしました。

「ありふれた里地里山」を今では多くの方が親しむ場所となるまでの取組みの過程を是非ご覧いただくとともに、結の故郷（ゆいのくに）越前おおのでお互いに、地域づくりについて学びあいましょう。

■みどころ

初日は、「花と緑」をテーマに地域内外から人を呼び込む矢地区と、蜚の保護・活用により地域おこしに奮闘する上丁（かみようろ）地区の2集落の現地視察により、里地里山を見事プロデュースした地域を紹介します。また、夕食交流会では名水百選の越前おおの水で育まれた食材を使用した手作りの郷土料理で皆様をおもてなしいたします。

2日目は九頭竜川の源流域和泉地区で【①サイクリング体験コース】と和泉地区伝統野菜の穴馬カブラ収穫・調理体験・食文化を見学する【②食文化体験コース】の2コースをご用意しています。どちらも、越前おおのの大自然を肌で感じることができ、存分に楽しめます。

共に学び、語りながら、この越前おおのの皆様とつながり合いましょう！『ぜひ、大野市にきとつけの～（来てくださいね）』

■地域づくり団体紹介

〈奥越前まんまるサイト〉

人の暮らしと関わりが深い里地里山の魅力がたっぷりの大野市で、自然や人の暮らし及び環境をテーマに四季折々の様々な体験事業を県内外へ発信・運営しています。そこに集う皆が心身共に「まんまる」につながって地域力を高めることで魅力ある持続可能な地域になることを願って活動している団体です。

〈越前大野もてなし隊〉

もてなし隊はこれまで地域の素晴らしさを再発見し、地元住民の方とともに季節ごとの地域資源を活かした体験交流プログラムを企画・実施してきました。お互いの顔が見えるコミュニケーションづくりを目指し、皆さんをお客様としてよりも、地域の素晴らしさを、ともに楽しむ仲間としてお迎えしたいと張り切っています。

〈九頭竜楽しみ隊〉

九頭竜川源流域、大野市和泉地区の自然・風景・文化・民俗等を愛し、この地域で楽しみたい人たちが2003年に結成したのが九頭竜楽しみ隊です。年々、過疎化が進む和泉地区を元気にしようと市外の皆さんを会員としてまきこみ、地域住民と一緒に農作業体験や交流会を行っています。

お問い合わせ先

大野市分科会実行委員会事務局（大野市行政戦略課内） 担当／鈴木

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

tel:0779-66-1111（内線433）

fax:0779-65-8371

E-mail:senryaku@city.fukui-ono.lg.jp

URL:http://www.city.ono.fukui.jp/

人と地域がキラリと光るまちづくり ～『恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク』からの発信～



ジオツアー（大矢谷白山神社）

分科会会場／野向町（のむき風の郷ほか）

宿泊場所／あまごの宿（相部屋）

募集人員／25名 現地経費／10,000円

内訳	宿泊費	／6,300円（朝食込）
	食事交流会	／2,000円
	施設入館料	／700円
	17日昼食	／1,000円

11月16日(土)

味の祭典会場（福井市）からバスで分科会会場までご案内します。

13:00 味の祭典会場 出発

14:00 のむき風の郷着

14:10 エコミュージアム、野向町のまちづくりについて説明

14:40 のむき風の郷視察

15:30 福井県立恐竜博物館、見学

17:20 あまごの宿（宿泊先）着

17:30 「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」について講演

18:30 食事交流会

11月17日(日)

8:00 八反滝散策

8:30 ジオパークツアー（地質遺産めぐり）

11:30 昼食

12:20 ゆめおれ勝山 見学

12:45 分科会終了

終了後、JR福井駅までお送りします。

●到着予定時間／13:50 JR福井駅

■テーマ紹介

勝山市ではエコミュージアムによるまちづくりを進め、「小さくてもキラリと光る誇りと活力に満ちた勝山市」を目指し、さまざまな団体が活動しています。その中でも地元特産を活かしたコミュニティビジネスを積極的に進める野向町まちづくり協議会の地域力を活かしたまちづくりに触れていただきます。

また、平成21年に、市全域が「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」として日本ジオパークネットワークへの加盟が認定されました。この豊かで壮大な地質・地形遺産や自然景観を、市民ガイドボランティアによるジオパークツアーで体験していただきます。

■みどころ

活性交流センター「のむき風の郷」にて、野向町まちづくり協議会が取り組んできた特産品ビジネスを紹介いたします。また、「のむき風の郷」を交流の核とした周辺環境の整備もおこなっています。その事例としてトレッキングコースを整備した八反滝をご覧いただき、豊かな自然景観を体験していただきます。

また、ジオパークツアーでは世界三大恐竜博物館のひとつとして有名である福井県立恐竜博物館、平泉寺の大矢谷神社にある巨大岩塊や国史跡平泉寺をご覧いただき、勝山市の地質・地形の成り立ち、そこに息づく貴重な歴史遺産についてご紹介いたします。

■地域づくり団体紹介

〈野向町まちづくり協議会〉

野向町まちづくり推進委員会では、これまで、歴史文化遺産発掘や、地元特産エゴマの生産・搾油・販売事業、コスモスまつり、野向町誌「高尾の息吹第三集」など、地域遺産を活用した取組を積極的に進めてきました。

そのなかでも野向町で古くから報恩講（仏事）のおもてなし料理に使われていた「エゴマ」を、勝山市エコミュージアム事業の一貫として、平成17年度から3年間事業を展開し、平成20年度には『株のむきのエゴマ』を立ち上げ、栽培から搾油まで地元での一貫生産を行っています。平成23年度からはこれまでの取組を町内外に幅広く発信する拠点施設となる『活性交流センター のむき風の郷』を設立し、農産物やエゴマなどを販売することで、交流人口の

増加を図り、町民総出で活発な野向町を目指して活動しています。



エゴマクッキング教室

お問い合わせ先

勝山市分科会実行委員会事務局（勝山市総務課内） 担当／出口

〒911-8501 勝山市元町1丁目1番1号 tel:0779-88-1116 fax:0779-88-1119

E-mail:soumu@city.katsuyama.lg.jp URL:http://www.city.katsuyama.fukui.jp

地域発・古くて新しい食文化の発信

～河和田の魅力体験と交流によるまちづくり～



河和田中道通り

分科会会場／河和田地区（うるしの里会館ほか）
 宿泊場所／かわだ温泉 ラポーゼかわだ（相部屋）
 募集人員／20名 現地経費／11,000円
 内訳 宿泊費／8,000円（朝食込）
 食事交流会／3,000円

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。

- 13:00 味の祭典会場出発
 13:40 河和田町会館着、河和田中道通り周辺散策～うるしの里会館へ
 ●職人工房(蒔絵、沈金、塗り)見学、学生交流拠点散策
 ●民カフェ(古民家)にてお茶
 16:00 うるしの里会館着・館内および山車会館案内
 16:30 地域団体事例発表
 ●越前漆器協同組合
 ●うるしの里いきいき協議会
 ●応用芸術研究所
 17:10 食事交流会 ～食と語らいによるおもてなし～
 (「うるしの里御膳」をご堪能ください。)
 余興:創作狂言、楽人、プチ伝統行事「おこない」
 20:10 ラポーゼかわだ着

11月17日(日)

- 8:30 ラポーゼかわだ出発
 8:40 桃源清水 かわだの美味しい水でエコ体験
 9:15 越前漆器絵付け体験～自分だけのオリジナル作品の製作～
 10:30 かわだ大収穫祭
 (うらら農縁倶楽部農業倉庫カフェにて、河和田の里の味を満喫)
 13:30 JR鯖江駅で解散
 ●到着予定時間／13:30 鯖江駅

■テーマ紹介

越前漆器産業が、食生活の欧米化、生活様式の多様化に伴い厳しい状況にある中で、当地域では、おもてなしの心を大切にし、女性団体が中心となって、昔から伝わるお膳料理にチーズフォンデュや山うに(柚子うに)などを取り入れた創作料理「うるしの里御膳」を観光客に提供しています。和食文化が見直されている中で、夏季にアートキャンプを行う京都の大学生達にも食育ワークショップを通して、食の大切さを教えており、学生達と連携して、伝統工芸と地場食材による食文化を全国に発信しています。是非、この分科会で河和田ならではの食文化とおもてなしの心にあふれた、「うるしの里かわだ」の魅力体験してみませんか。

■みどころ

福井豪雨から復活した伝統的町並み散策と職人工房での語らい、そして1500年の伝統を誇る越前漆器の匠の技を集結した大型山車は豪華必見です。また、八重桝を使用した「うるしの里御膳」や農縁倶楽部倉庫での河和田の里の収穫祭など、食のおもてなしと河和田の人々との交流をお楽しみください。また、福井の美味しい水100選にも選ばれた「桃源清水」でのエコ体験や越前漆器の絵付け体験による自分だけのオリジナル作品の製作など、河和田の宝を存分に満喫していただきます。

■地域づくり団体紹介

〈うるしの里食文化戦略協議会〉

うるしの里食文化戦略協議会は、地域の実情に即した食と農および地場産業の連携と活性化を図ることを目的に、都市と田舎の交流事業や伝統産業(越前漆器)、自然、歴史、文化などの豊富な地域資源を活用したグリーンツーリズム事業を展開しています。

近年では、銀座ミツバチプロジェクトなど都市団体との双方向のフランクな交流を続けており、銀座で開催されるファームエード銀座にも出店し河和田をPRするとともに、逆に河和田にもお越しいただき、伝統行事(おこない)の見学や匠の工房見学、食の交流などを行っています。また、京都市出町商店街(エコ商店街)において、河和田地区の特産品の販売や商店街の理事たちと地方の農作物を使った商店街の活性化についての協議などお互いの地域資源を活かした継続的な交流事業や学生を対象とした「ワークステイ事業」



都市住民を迎えて、
特産化を目指す山うにづくり講習会

を通じて鯖江を訪れるプログラムを企画し、定住・移住につなげる取り組みを行っています。さらには、桑葉茶や山うに(柚子うに)などの特産品作りや遊休農地を利用したグループ農業も行っています。

お問い合わせ先

鯖江市分科会実行委員会事務局(鯖江市秘書企画課内) 担当/渡辺

〒916-8666 福井県鯖江市西山町13-1 tel:0778-53-2263 fax:0778-51-8150

E-mail:SC-HishoKikaku@city.sabae.lg.jp URL:http://www.city.sabae.fukui.jp/

あわらの魅力、おしえるざあ ～地域のたからを生かしたまちづくり～



湯けむり横丁

分科会会場／あわら温泉湯のまち広場周辺

宿泊場所／美松（相部屋）

募集人員／30名 現地経費／10,000円

内訳	宿泊費	／9,000円
		（食事交流会・夜なべ談義・朝食込）
	17日昼食	／1,000円

11月16日(土)

味の祭典会場（福井市）からバスで分科会会場までご案内します。

- 13:00 味の祭典会場 出発
- 14:00 美松着
- 14:30 事例発表、意見交換会（あわら湯けむり創生塾）
- 16:00 あわら温泉街散策
（おしえる座あ、屋台村「湯けむり横丁」ほか）
- 18:00 食事交流会
- 20:45 夜なべ談義
（会場を屋台村「湯けむり横丁」に移して、ご歓談ください。）

11月17日(日)

- 9:00 美松出発
- 9:15 金津本陣IKOSSA見学
- 10:00 金津創作の森見学
（途中、あわら北潟風力発電所の風車群（全10基）をご覧ください。）
- 11:00 吉崎御坊跡散策（ボランティアガイドによる案内）
- 12:00 昼食（蓮如上人記念館）
- 13:00 分科会終了
終了後、JR芦原温泉駅までお送りします。
●到着予定時間／13:15 芦原温泉駅

■テーマ紹介

あわら市には多くの自然の恵みがあふれています。中でも泉源数74本を誇るあわら温泉は県内有数の温泉地で、市の基幹産業の一つである観光の中核をなしています。あわら湯けむり創生塾では、あわら温泉が持つ魅力を最大限に引き出すことが地域の活性化につながっていくと考え、この地に授かった宝である「温泉」をキーワードに、観光業のみならず商業や農業といった他業種との連携を図りながら、様々な事業を展開しています。

分科会ではこうした事業の紹介を行ったうえで、実際に屋台村として営業している「湯けむり横丁」をご覧ください。皆さん、あわらの豊富な食材を堪能しつつ、あわらの魅力に触れてみませんか。

■みどころ

あわら湯けむり創生塾では、これまでに「湯めぐり手形」の作成・販売をはじめ、「屋台村」の整備やオリジナル商品の開発など、様々な事業を行ってきました。分科会ではこうした事業の事例紹介を行った後、屋台村「湯けむり横丁」や「おしえる座あ」、国の登録有形文化財に指定された「藤野巖九郎記念館」などをご案内いたします。夕食交流会のあとの夜なべ談義では、会場を屋台村「湯けむり横丁」に移してご歓談いただきます。ぜひともあわらの魅力を見て、聞いて、そして体験してください。

分科会2日目は、昨年、国の重要文化財に指定された「桑野遺跡の出土品」が展示されている「金津本陣IKOSSA」をご案内いたします。その後は、芸術家たちが生活しながら創作活動や発表を行う全国的にも例のない施設「金津創作の森」や蓮如上人の北国の布教の拠点であった「吉崎御坊跡」などを巡り、あわらの歴史の一端に触れていただきたいと思います。

■地域づくり団体紹介

〈あわら湯けむり創生塾〉

平成18年度から活動を続けているあわら湯けむり創生塾。その活動の根底に流れているのは「湯の街・あわらに活気を戻したい」という熱い思いです。活動の趣旨は、温泉を中心とした地域のあらゆる資源を活用しながら、それらを複合的に連携させてい



くことで、あわら温泉の魅力を最大限に引き出し、活力を創生していこうというものです。このため、活動は広範囲に渡っており、「あわら温泉賑わい創生部会」「駅前広場賑わい創生部会」「オリジナル商品創生部会」「おしえる座あ創生部会」の4つの部会を設置して活動しています。

芦の湯通り「湯落とし」

お問い合わせ先

あわら市分科会実行委員会事務局（あわら市政策課内） 担当／小嶋・江川

〒919-0692 福井県あわら市市姫3丁目1-1 tel:0776-73-8005 fax:0776-73-1350

E-mail:seisaku@city.awara.lg.jp URL:http://www.city.awara.lg.jp/

越前しらやま発

五感で感じる! ほたるの里の『ほたるカフェ』

～地域の宝で拠点づくり～



廃校舎を活用した地域の拠点

分科会会場／白山地区（しきぶ温泉「湯楽里」ほか）

宿泊場所／みどりと自然の村 太陽の広場

「農業研修所」（相部屋）

募集人員／20名 現地経費／11,000円

内訳 宿泊費 3,600円（朝食込）

食事交流会 5,600円

17日昼食・施設使用料 1,800円

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。

13:00 味の祭典会場 出発

13:30 タケフナイフビレッジ

かこさとしふるさと絵本館・紫式部公園

16:00 事例発表研修会(しきぶ温泉「湯楽里」)

17:30 「湯楽里」にて入浴・食事交流会

21:00 宿泊 みどりと自然の村 太陽の広場「農業研修所」

夜なべ談義

11月17日(日)

9:00 コウノトリ飼育ケージ、PR館、へ出発

10:00 研修会(活動紹介・意見交換)(ほたるカフェ)

12:00 昼食(ほたるカフェ)

13:00 分科会終了

終了後、JR武生駅までお送りします。

●到着予定時間／13:30 武生駅

■テーマ紹介

越前市では、さまざまな人が集まり、つながり、行動し、そして伝えることで、生き物がたくさんすむ里地里山を取り戻し、人も生き物も共生する元気なまちづくりをめざしています。

この白山地区では、縁のあるコウノトリを生物多様性や自然再生のシンボルとして位置づけ、里地里山の自然環境、生物多様性の保全再生、環境調和型農業の推進に取り組んでいます。越前しらやまにぜひお越し下さい。

■みどころ

しらやま振興会では、廃校になった小学校を有効活用し地域の新たな拠点として蘇らせることを目的に、今年初めて「ほたるカフェ」をオープンいたしました。地区内の「しらやまシスターズ・ブラザーズ」のスタッフたちが、しらやまのイメージでブレンドされた「ホワイトマウンテンコーヒー」や、地域の食材で作られたスイーツ・お食事などでおもてなしをいたします。6月だけの期間限定でしたが、今回は特別に営業いたします。今後は、定期的に農林産物の販売PRや、情報発信基地として活用し、雇用拡大へと繋がるよう取り組みを進めます。

■地域づくり団体紹介

〈しらやま振興会〉

当地域は、「にほんの里100選」や「美の里づくりコンクール」に入選するなど、美しい里地里山景観を残す地域であり、地域住民も、地域の自然が持つ価値に気づき、コウノトリを頂点とした希少野生生物や自然環境の保全再生を目指した活動を、行政をはじめ各種団体と連携し、取り組んでいます。

「コウノトリしらやまファンクラブ」などの地区外住民との交流事業も活発で、当地区の活動などの発信を全国に向けて行っています。また、地区から産出される農林産物のブランド化を図り、生物多様性の保全と経済活動の両立を目指すために、新たな商品開発及びしらやまブランド認証制度の確立が進んでいます。

今後は里地里山の保全なども、地域住民と都市住民が協働で行い広葉樹林を森林浴や森林セラピーに活用する活動にも広げて、里地里山の多様な価値を生かした里地里山ガイドやエコツーリズム事業などを行うことにより、地域住民の雇用の創出を目指しています。



しらやまシスターズ・ブラザーズ



ほたるカフェ

お問い合わせ先

越前市分科会実行委員会事務局（しらやま振興会【白山公民館内】） 担当／名田、森

〒915-1204 福井県越前市都辺町36-84 白山公民館内 tel:0778-28-1045 fax:0778-29-2071

E-mail:s-shinkou@es.ttn.ne.jp URL:www2.ttn.ne.jp/~s-shinkou/

帯の町三国湊に残る 歴史と文化を活かしたまちづくり ～三国再発見からのまちづくり～



九頭竜川から望む三国湊

分科会会場／三国湊きたまえ通り(三国観光ホテルほか)

宿泊場所／東尋坊温泉 三国観光ホテル(相部屋)

募集人員／30名 現地経費／10,000円

内訳 宿泊費／9,000円(食事交流会・朝食込み)
昼食代／1,000円

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。

13:00 味の祭典会場 出発

車中にて日程、三国の概要説明(みくに文化未来館到着)

14:00 町なか探訪

●出村～旧岸名家、旧森田銀行他

15:50 三国観光ホテルへ移動

16:00 各団体事例発表、意見交換会

18:30 食事交流会(郷土料理等)

郷土芸能 三蝶会(三味線、太鼓等)

20:30 夜なべ談義

11月17日(日)

9:00 三国湊クルーズ(船上からの町並み風景)

10:00 町なか散策

●瀧谷寺、三國神社他 ※雨天時、みくに龍翔館他

11:30 昼食交流会(三国湊座)

12:40 分科会終了

終了後、JR芦原温泉駅(到着まで約20分)までお送りします。

●到着予定時間／13:10 芦原温泉駅

■テーマ紹介

三国祭の山車が練り歩く道を辿ると、地元の民謡である三国節の「帯の幅ほどある町」の歌詞を実感できます。洋風、和風の古い建物や由緒ある神社仏閣が、江戸時代から明治にかけて北前船の寄港地として栄えた湊町の往時を偲ばせます。

三好達治や高見順など多くの文豪が愛した情緒たどよう小径を歩き、郷土料理に舌鼓を打ちながらまちづくりについて語り合しましょう。

■みどころ

九頭竜川の流が日本海に注ぐところ、この川に沿って伸びる帯の幅ほどのまち三国は、北前船による日本海有数の湊町として栄えました。

戦災・震災を免れた三国湊には、今も街中に残る情緒あふれる町並み・建物を通じて往時のにぎわいに触れることができます。

1日目は、旧町内に残る町並み、旧岸名家、旧森田銀行などを散策し、三國會所、みくにみらい塾の事例発表の後、意見交換会を行います。夕食交流会・夜なべ談義では、郷土料理・地酒を味わいながら地域づくりについて熱く語り合しましょう。

2日目は、九頭竜川をクルージングし船上から三国の町並みを見ていただきます。その後、瀧谷寺・三國神社を参拝します。昼食交流会では皆様から三国の感想を是非聞かせてください。

■地域づくり団体紹介

〈みくにみらい塾〉

三国に住むことを誇りとし三国を愛する者達が、「三国の歴史・文化・自然」を学び、現状を見据え三国へのこだわりを持ちながら、未来への可能性を追求し、夢を語り合うことを目的に「みくにみらい塾」が平成5年に結成されました。そして、『三国再発見』をテーマとして活動を開始し今年で22年目を迎えました。

また、その一方で高齢化社会をむかえ、これからの人生を考えると、心の通じ合う多くの友人を持って、互いに交流し学習することがこれからの人生を楽しく張りのあるものにすると考え、塾活動をしています。

〈一般社団法人三國會所〉

三国の商業・観光の推進および歴史・文化を生かした総合的なまちづくりの推進を目的とした当会は100名あまりの会員が【創生】【回遊】【町並】【芸能】【案内】【総務】の6委員会にわかれレンタサイクル、クルージング、伝統ある三国節を踊り流す「三国湊帯のまち流し」などを実施しています。

また、本年より、登録有形文化財の旧森田銀行本店、旧岸名家、観光施設の三国湊町家館の指定管理を受け、この三施設を活用しながらまちづくりに取り組んでいます。

お問い合わせ先

坂井市分科会実行委員会事務局(坂井市三国総合支所地域振興課内) 担当/濱中

〒913-8501 福井県坂井市三国町中央1丁目5番1号 tel:0776-82-8900 fax:0776-82-8970

E-mail:chiiki-miku@city.fukui-sakai.lg.jp URL:http://www.city.fukui-sakai.lg.jp

禅の里永平寺を活かしたまちづくり ～心のふるさと 永平寺へようこそ～



坐禅体験・写経体験会場（柏樹庵）

分科会会場／永平寺(永平寺緑の村四季の森文化館ほか)
 宿泊場所／東喜家(相部屋)
 募集人員／20名 現地経費／9,600円
 内訳 宿泊費／8,400円(食事交流会・朝食込)
 17日昼食／1,200円

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。

- 13:00 味の祭典会場 出発
- 13:40 永平寺町概要説明
- 14:00 まちづくり事例発表(四季の森文化館)
 - 永平寺門前観光協会の取組み
- 14:30 意見交換
- 15:30 大本山永平寺特別案内
- 17:00 永平寺温泉 禅の里施設見学(入浴)
- 18:00 食事交流会
 - (アトラクションとして地元の伝統芸能である「永平寺神楽」を紹介)

11月17日(日)

- 9:00 ボランティアガイドによる観光案内(大本山永平寺周辺)
- 9:30 門前まちなみ散策(自由散策)
- 10:15 座禅体験・写経体験
- 11:30 昼食
- 13:00 分科会終了
 - 終了後、JR福井駅までお送りします。
 - 到着予定時間／13:30 福井駅前

■テーマ紹介

永平寺門前観光協会は地区のにぎわいをよみがえらせるために、大本山永平寺の歴史的な資源を活用し、永平寺門前の活性化に積極的に取り組んでいます。

観光客を気持ちよくおもてなしするため、花のプランターを設置する活動や、雪深い地域の特性を活かした「冬の燈籠まつり」の開催など、地区全体を盛り上げる工夫を行っております。

また、会員同士でボランティアガイドとしての勉強会を行い、地元の良さを再発見するとともに、観光客へのサービスの向上に努めています。

このように、もてなしの心を大切にした禅の里永平寺を活かしたまちづくりの取組みを通して、他の団体との意見交換ができればということでテーマを考えました。

■みどころ

大本山永平寺の特別案内は、一般参拝では見学できない場所を雲水の案内で見学することができます。また柏樹庵では、座禅体験のほか、「禅の里まちづくり」構想のパネルや模型を見ることができます。

大本山永平寺門前の街並みは、平成22年2月に県の目玉となる観光地づくり事業の事業採択を得て、事業に取り組み平成24年3月に完成しました。事業実施にあたり、「歩く」「もてなし」を重点において、「見る」「聞く」「嗅ぐ」「味わう」「触れる」といった、人の五感に訴えるような工夫を凝らし、観光客が気軽に門前街を歩く雰囲気づくり、歩いてみたくなる環境づくりに努め、旅の楽しみや思い出づくりとなるような心の観光地「永平寺」を目指しております。ぜひ、もてなしの心あふれる永平寺門前を一度散策してみてください。

■地域づくり団体紹介

〈永平寺門前観光協会〉

観光客の減少を何とか食い止めようと、ご本山と町が協力して「お客さまを呼び戻そう」と、魅力あるまちづくりを模索しています。

古い歴史をもつ伝統行事に、新たな息吹を吹きこみ、おもてなしのイベントにして、お客さまも地元の人々も「いいまち！」と誇りをもてるよう、一步一步活動の輪を広げていきます。



歓迎アートの制作

お問い合わせ先

永平寺町分科会実行委員会事務局(永平寺町総務課内) 担当／平林

〒910-1192 福井県吉田郡永平寺町松岡春日1-4 tel:0776-61-3941(総務課直通) fax:0776-61-2434

E-mail:soumu@town.eiheiji.lg.jp URL:http://www.town.eiheiji.lg.jp

街道浪漫

～海の道、山の道、里の道～



京藤甚五郎家

分科会会場／今庄地区（旧旅籠「若狭屋」ほか）
 宿泊場所／ふれあい会館今庄サイクリングターミナル（相部屋）
 募集人員／25名 現地経費／10,000円
 内訳 宿泊費・交流会費／5,000円（朝食込）
 食事交流会費／3,000円（夜なべ談義込）
 体験費／2,000円（昼食込）

11月16日(土)

味の祭典会場(福井市)からバスで分科会会場までご案内します。

13:00 味の祭典会場 出発
 14:00 北前船主の館 右近家 見学
 15:00 脇本宿経由で今庄宿へ
 15:30 活動発表・意見交換会(旧旅籠「若狭屋」にて)
 移動途中、「文政の道しるべ」に立寄ります。
 18:00 食事交流会
 20:30 夜なべ談義

11月17日(日)

8:00 今庄宿散策(公德園、京藤甚五郎家)
 9:00 ワークショップ(旧昭和会館)
 10:30 そば打ち体験
 11:30 昼食交流会
 12:45 解散
 終了後、JR武生駅までお送りします。
 ●到着予定時間／13:30 武生駅

お問い合わせ先

南越前町分科会実行委員会事務局（南越前町企画財政課内） 担当／武長

〒919-0292 福井県南条郡南越前町東大道29-1 tel:0778-47-8013 fax:0778-47-3261
 E-mail:kizai@town.minamiechizen.lg.jp URL:http://www.town.minamiechizen.lg.jp/

■テーマ紹介

山中峠・木ノ芽峠・栃ノ木峠の合流点である「今庄宿」、そこからさらに湯尾峠を越えて「脇本宿」へと続く北国街道。海の商船・北前船の「河野浦」など、陸と海の道とともに歴史を刻んできた南越前町。

道によって繋がる人・モノ・文化の香りをさらに豊かなものとし、「地域・世代を繋げるまちづくり」へと進める取組みが展開されようとしています。

南越前町分科会では、NPO法人今庄旅籠塾の取組みを中心にご紹介し、南越前町の景色・歴史・雰囲気・食を楽しみながら、地域の将来やこれからの取組みについて共に考える2日間にしようと考えています。ぜひ一緒に「地域・世代を繋げるまちづくり」について、考え、語り合しましょう。

■みどころ

【1日目】

- 北前船主の館右近家：海の道を拓き陸の産業・経済を支えた足跡が残る建物・資料をご覧ください。
- 若狭屋：旧旅籠である「若狭屋」において、NPO法人今庄旅籠塾の活動をお聞きいただいた後、意見交換を行います。

【2日目】

- 今庄宿散策：江戸時代から続く町並みとかつて行き交った多くの人々の面影が残る今庄宿を散策します。水戸天狗党が宿泊し刀傷も残る「京藤甚五郎家」、今庄宿本陣跡の「明治殿」など今庄宿の名所を細い路地を通りながらご覧ください。
- ワークショップ：昭和初期の洋風建築であり、社会教育施設として活用されてきた「旧昭和会館」にて地域づくりに関するワークショップを行います。
- 食：「今庄そば」など、南越前町の豊かな「食」もお楽しみください。

■地域づくり団体紹介

〈NPO法人 今庄旅籠塾〉

平成21年に結成されたNPO法人今庄旅籠塾は、解体の危機にあった旧旅籠・若狭屋の再生に取り組むなど、今庄の町並みや文化の調査研究・保存継承活動を通し、次世代に繋げるまちづくりの実践をテーマとする団体です。

具体的な活動としては、高校生を対象とした若狭屋改修コンペ・改修工事実習を通し、古民家の構造・建築技術の学習や地元小中学校児童への歴史教育など、次世代を担う若者を育てる取組みを中心に展開しています。今年3月には、若狭屋で新たにカフェをオープンし、地域住民の憩いの場や来訪者との交流の機会をデザインしています。

市町紹介

福井市

養浩館庭園



福井市はこれまで、数多くの災禍を乗り越えて不死鳥のごとく復興、発展してきました。不死鳥の精神が息づいており、不屈の気概と、お互いを尊重し合う風土が息づいています。

本市には、戦国ロマンを伝える「一乗谷朝倉氏遺跡」、幕藩時代の歴史を語る「養浩館庭園」、さらには風光明媚な越前海岸、春の風物詩である足羽川の桜など魅力あふれるミッドコロが数多く点在します。

また、福井生まれの「コシヒカリ」、「越前がに」や「おろしそば」をはじめ、大地と海からの恵を活かした四季折々の美味しさは、味の宝庫として人々をうならせます。

そのなかで、自然・活気・誇りにみちた人が輝くかえりとなるまちふくいを将来都市像に、住み続けたいまち、行ってみたい、住んでみたいまち、帰りたいまちを目指します。

鯖江市

西山公園



鯖江市は、福井県のほぼ中央に位置し、人口約7万人のまちです。眼鏡、繊維、漆器を三大地場産業としています。

また、鯖江市のシンボル公園として「日本の歴史公園100選」に認定された「西山公園」は、春には、約5万株のつつじが咲き乱れる日本海側随一のつつじの名所であり、桜、つつじ、もみじ、雪吊り風景と四季を通じて多くの人で賑わいます。園内には、動物園、芝生広場、冒険の広場、日本庭園などがあり、大人も子供も楽しめる憩いの公園です。

また、市民が主役となった地域活動も盛んであり、人間味豊かなまちとして堅実な発展を続けており、日本のふるさとの原点ともいふべき「人」、「ものづくり」、「自然・環境・風土」、「まち」の魅力にあふれています。

敦賀市

氣比神宮



敦賀市は、古来より天然の良港として知られ、日本海側の玄関口として世界に開かれた港を中心に栄えた港町です。

明治後期には、東京・新橋から敦賀・金ヶ崎とウラジオストクとの定期航路を介し、欧亚国際連絡列車が発着し、シベリア鉄道を経由して、ベルリンやパリ、ロンドンなどとの間に多くの人々や文化を運びました。当時は、駅や港に、シルクハットの紳士や豪華なドレス姿の淑女が往来するなど異国情緒に満ちあふれていました。

その類まれな歴史を通りぬけ息づいてきた敦賀には、北陸道総鎮守と仰がれる「氣比神宮」、歴史的な面影を残す町並み「博物館通り」など、ノスタルジックなエピソードがいたるところに眠っています。「港と鉄道のまち敦賀」へぜひお越しください。

あわら市

芦原芸妓



あわら市は福井県の最北端に位置し、市の北西部は日本海に面しており、その一帯は越前加賀海岸国立公園にも指定されています。市の北部は北潟湖と丘陵地帯、東部は山岳地帯、南部には田園地帯が広がっており、こうした自然に育まれた豊富な食材は四季を通じて楽しむことができ、あわらの魅力の一つにもなっています。

本年度は市制施行10周年の節目の年でもあり、来年度にはあわら温泉開湯130周年を迎えます。

また、今後の北陸新幹線の福井延伸を見据えながら、現在、官民一丸となってにぎわいに満ちたまちづくりを進めています。

訪れるたびに新しい魅力が発見できるあわら市です。皆さんのお越しをお待ちしています。

小浜市

蘇洞門



小浜市は県南西部に位置し、近畿圏との歴史文化のつながりが強く、風俗、習慣、言語等に多くの共通性が見られます。また、国名勝蘇洞門に代表される、切り立ったリアス式海岸の若狭湾は国定公園に指定されています。古代からの天然の良港である若狭湾は新鮮な魚介類を生み出し、その海の幸を朝廷に送る御食国としての歴史を刻んできました。

中世には、象を乗せた南蛮船が来航する等、日本海側の玄関口として、京都・滋賀・奈良へ大陸・南蛮文化を伝える主要な港町として栄えました。市内には、民俗行事や祭礼等の伝統行事や寺社建造物等、県下で最も多くの文化財を有しています。その他、「京は遠ても十八里」と謳われた鯖街道の起点もあり、へしこやナレスシ等の食文化も豊かなところです。

越前市

紫式部公園



越前市は、福井県のほぼ中央に位置し、市の中央を北陸自動車道と国道8号が縦断し、関西・中京圏などの主要都市や福井市・敦賀市など周辺都市との交通の動脈となっています。

本市の歴史は、継体大王伝承に見られるように大変古く、越の国と呼ばれた頃から拓けた地域で、旧武生市には越前国府が置かれ、政治・経済・文化の中心地として栄えました。平安時代には「源氏物語」の作者、紫式部が越前国司として赴任した父とともに多感な青春時代の一年余りを暮らした地でもあります。

現在は、越前和紙や越前打刃物をはじめとする伝統産業から、電子部品などの先端産業に至るまで幅広い産業が集積し、県下第一位の製造品出荷額を誇る「モノづくりのまち」として発展しています。

若狭町

三方五湖



若狭町は、西に小浜市、南は滋賀県と隣接した人口1万6千人の町です。若狭湾にそそぐ北川に並行した旧若狭街道（通称鯖街道）を通じ、宿場町として栄えた熊川宿をその拠点として、京や近江と物資や文化両面でのつながりをうかがうことができます。

また、約7万の湖底の堆積物「年縞（ねんこう）」が発見された水月湖を含む国勝・ラムサール条約登録湿地の三方五湖、縄文のタイムカプセルと言われ丸木舟や漆塗櫓が出土した鳥浜貝塚、若狭の王墓である前方後円墳が集中する古墳群、環境省選定の名水百選瓜割の滝など、歴史的価値の高い文化財や美しい自然が豊富にあります。

これらの若狭町固有の宝を、故郷への愛着と誇りをもって次代へと受け継いでいこうと取り組んでいます。

大野市

越前大野城



私たちのまち「越前おおの」は、緑豊かな自然環境が育むおいしい水と食に恵まれた、歴史、文化、伝統が息づいており、また、戦国時代に築かれた越前大野城から見下ろす市街地は、寺院が連なる寺町通りや短冊状に区切られたまち並みなどから「北陸の小京都」ともいわれています。

まちのイメージを強く打ち出す言葉として、ブランド・キャッチコピーを「結の故郷（ゆいのくに）越前おおの」と決めました。「結（ゆい）」という言葉には、古来より、村々で農作業などをお互いに助け合いながら行う習慣の意があります。そして、その言葉を含んだ「結の故郷」には、多くの地域とのつながりを大切に受け継ぎ育んできた大野市を結がたくさん詰まった一つの故郷として表現しています。

勝山市

恐竜博物館



勝山市は、福井県の北部、九頭竜川の中流域にあって、古くから繊維産業で栄えた人口2万6千人の自然豊かな田園都市です。また、恐竜化石の発掘量が全国の約8割を占める本市は、平成21年に「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」として日本ジオパークの認定を受けました。

年間50万人の来場者でにぎわう恐竜博物館、西日本一の規模を誇るスキージャム勝山、境内に映える苔が見事な国史跡白山平泉寺、さらには、300年以上の歴史を誇る奥越前に春を呼ぶ奇祭「勝山左義長まつり」など、全国的にも一級品の見どころが数多くあります。

アメリカの経済誌「フォーブス電子版」が世界で9番目にクリーンな都市として選んだ本市の豊かな自然をぜひご覧ください。

坂井市

みくに龍翔館



彩り豊かな海が、山が、空が癒してくれる、美しい自然景観や歴史文化遺産を数多くもつ坂井市は、人々を包み込み優しさを伝える心のふるさと、地域が一体となったもてなしのまちです。坂井市を宇宙（そら）から眺めると「心」の字の形をしています。輝く未来へ…みんなで創る希望の都市（まち）坂井市。ここには、人間（ひと）の一番大事なものがあります。

分科会会場である坂井市三国町は、断崖に日本海の荒波が打ち寄せる景色や、夕陽の名所で知られる国指定名勝「東尋坊」と、三好達治、高見順たち多くの文豪が魅了された文学のまち、北前船の寄港地で大きな繁栄をもたらした歴史のまちです。新鮮な海の幸や、農産物等福井のうまいものを堪能できます。

永平寺町

永平寺 伽藍と紅葉



永平寺町は、福井県嶺北地方のほぼ中央に位置し、南と西は県都福井市、東は勝山市に、北は坂井市にそれぞれ隣接し、東は白山連峰を望み、四季を彩る山々に三方を囲まれた町です。

永平寺町には、曹洞宗大本山永平寺や吉峰寺、手繰ヶ城古墳を始め、いにしへの壮大なスケールを感じさせる国指定の史跡・松岡古墳群などがあり、町の中心を流れる九頭竜川中流域は、鮎や憧れの魚サクラマス釣りの場として全国各地から大勢の太公望が訪れる自然豊かで、歴史と文化に育まれた町です。

永平寺町では、「うるおい・やすらぎ・人がきらめくまち えいへいじ」をまちの将来像に掲げ、町民誰もが安心して快適に暮らし、住み続けたいという意識を抱き続けるまちづくりが大切だと考えています。

南越前町

花はす公園



南越前町は、海、山、里の地形の変化に富み、季節の彩りを豊かな自然の中で実感できるまちです。夏は日本一の作付面積を誇る「花はす」、冬には越前海岸の潮風に揺られながら「水仙」が可憐な花を咲かせます。

古くから陸路・海路の要衝として栄えた南越前町には、今でもその面影が残る「今庄宿」や「北前船主の館右近家」など、風情あるまちなみが残されています。これらの歴史資源との関連も深い、豊かな風土が生み出したそばやつるし柿などの食文化も息づいています。

人・もの・情報の往来により形成・発展してきた歴史文化や美しい自然を生かし、「出会いから活力の花開くまち」に向けて住民との協働によるまちづくりを進めています。

参加申込先一覧

1. 地域づくり団体関係者および行政関係者の方

都道府県	都道府県協議会名	住 所	担当部署	担当	電話番号	ファックス番号
北海道・東北						
北海道	地域づくりネットワーク北海道連絡会議	060-8588 札幌市中央区北3条西6	北海道総合政策部 地域づくり支援局地域政策課地域再生グループ	齋藤	011-231-4111 内23-472	011-232-1053
青森県	青森県地域づくりネットワーク推進協議会	030-8570 青森市長島1-1-1	青森県企画政策部 地域活力振興課地域活性化グループ	田中	017-734-9147	017-734-8027
岩手県	岩手県地域づくり連絡会議	020-8570 盛岡市内丸10-1	岩手県政策地域部地域振興室 県北沿岸・定住交流課	齊藤	019-629-5194	019-629-5219
宮城県	みやぎ地域づくり団体協議会	983-0841 仙台市青葉区本町3-8-1	宮城県震災復興・企画部地域復興支援課	巻	022-211-2423	022-211-2442
秋田県	秋田県地域づくり団体協議会	010-8570 秋田市山王4-1-1	秋田県企画振興部 地域活力創造課	黒川	018-860-1238	018-860-3875
山形県	ふるさと山形塾ネットワーク	990-0832 山形市城西町1-7-19 山形県NPO支援センター1F	山形県創造NPO支援ネットワーク	結城	023-647-0675	023-647-0676
福島県	福島県まちづくり会議	960-8670 福島市杉妻町2-16(本庁舎5階)	福島県企画調整部 地域政策課	渡部	024-521-7119	024-521-7912
新潟県	地域づくり団体新潟県協議会	950-8570 新潟市中央区新光町4-1	新潟県総務管理部 地域政策課特定地域振興班	熊倉	025-280-5095 (2414)	025-280-5227
関 東						
茨城県	地域づくり団体茨城県協議会	310-8555 水戸市笠原町978-6	茨城県企画部 地域計画課	藤田	029-301-2720	029-301-2738
栃木県	地域づくり団体栃木県協議会	320-8501 宇都宮市塙田1-1-20	栃木県総合政策部 地域振興課	西	028-623-2239	028-623-2234
群馬県	群馬県地域づくり協議会	371-8570 前橋市大手町1-1-1	群馬県企画部 地域政策課	青木 星野	027-226-2370	027-243-3110
埼玉県	地域づくりネットワーク埼玉県協議会	330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1	埼玉県企画財政部 地域政策課	五江淵	048-830-2768	048-830-4741
千葉県	地域づくり団体千葉県協議会	260-8667 千葉市中央区市場町1-1	千葉県総務部市町村課 自治振興室	鶴岡	043-223-2362	043-224-0989
東京都	東京都地域づくり団体協議会	163-8001 新宿区西新宿2-8-1	東京都総務局行政部 振興企画課	大澤	03-5388-2407	03-5388-2417
神奈川県	神奈川県地域づくり団体協議会	231-8588 横浜市中区日本大通り1	神奈川県政策局自治振興部 地域政策課地域活性化グループ	沼畑	045-210-3260	045-210-8837
山梨県	山梨県地域づくり団体協議会	400-8501 甲府市丸の内1-6-1	山梨県企画県民部 県民生活・男女参画課	杉山	055-223-1351	055-223-1354
長野県	地域づくりネットワーク長野県協議会	380-8570 長野市南長野字幅下692-2	長野県総務部 市町村課地域振興係	鈴木	026-235-7139	026-232-2557
静岡県	しずおか未来づくりネットワーク	420-8601 静岡市葵区追手町9-6	静岡県経営管理部 自治局自治行政課	永田	054-221-2056	054-221-2776
東海・北陸						
富山県	富山県観光・地域振興局地域振興課	930-8501 富山市新総曲輪1-7	富山県観光・地域振興局 地域振興課	大石	076-444-3114	076-444-4561
石川県	石川地域づくり協会	920-8580 金沢市鞍月1-1	石川県企画振興部 地域振興課	寺田	076-225-1312	076-225-1328
岐阜県	地域づくり団体岐阜県協議会	500-8570 岐阜市数田南2-1-1	岐阜県観光交流推進局 観光課	山崎	058-272-8078	058-278-2674
愛知県	愛知県地域づくり団体交流協議会	460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2	愛知県地域振興部 地域政策課	小林	052-954-6096	052-954-6906
三重県	みえ地域づくり団体交流会議	514-8570 津市広明町13	三重県地域連携部地域支援課地域支援班	松本	059-224-2420	059-224-2219
近 畿						
福井県	福井県地域づくりネットワーク協議会	910-8580 福井市大手3-17-1	福井県総務部 市町振興課	中田 村田	0776-20-0747	0776-20-0631
滋賀県	滋賀県総務部市町振興課	520-8577 大津市京町4-1-1	滋賀県総務部 市町振興課	糠貝	077-528-3230	077-528-4820
京都府	京都府地域づくり団体ネットワーク協議会	602-8570 京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町	京都府総務部 自治振興課	堀川	075-414-4461	075-451-5452
大阪府	大阪府地域づくり団体協議会	540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22	大阪府総務部 市町村課振興・分権グループ	森景 泰田	06-6941-0351 (2228)・ 06-6944-7131	06-6944-6099
兵庫県	ひょうごふるさとづくり交流会議	650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1	兵庫県企画県民部 地域振興課	林田	078-362-9014	078-362-3950

都道府県	都道府県協議会名	住 所	担当部署	担当	電話番号	ファックス番号
奈良県	奈良県地域づくり団体協議会	630-8501 奈良市登大路町30	奈良県地域振興部教育振興課 教育振興・私学係	中嶋	0742-27-8347	0742-22-7215
和歌山県	地域づくりネットワーク和歌山県協議会	644-8585 和歌山市小松原通1-1	企画部地域振興局地域政策課	川崎	073-441-2371	073-441-2377
中 国						
鳥取県	とっとり県民活動活性化センター	680-8570 鳥取市東町一丁目220 鳥取県未来づくり推進局鳥取力創造課内	鳥取県未来づくり推進局鳥取力創造課	桑村	0857-26-7071	0857-26-8196
島根県	島根県地域づくりネットワーク協議会	690-0003 島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階	公益財団法人 ふるさと島根定住財団 地域活動支援課長	光明	0852-28-0690	0852-28-0692
岡山県	地域づくり団体岡山県協議会	700-8570 岡山市北区内山下2-4-6	岡山県県民生活部中山間・地域振興課	杉本	086-226-7267	086-224-6195
広島県	広島県地域政策局過疎地域振興課	730-8511 広島市中区基町10-52	広島県地域政策局 過疎地域振興課	新川	082-513-2632	082-224-1977
山口県	地域づくり団体山口県協議会	753-8501 山口市滝町1-1	山口県環境生活部 県民生活課	則近	083-933-2614	083-933-2629
四 国						
徳島県	徳島県地域づくりネットワーク協議会	770-8570 徳島市万代町1-1	徳島県政策創造部地域振興総局 地域創造課集落再生室集落再生担当	上田	088-621-2745	088-621-2829
香川県	香川県地域づくりネットワーク協議会	760-8570 高松市番町4-1-10	香川県政策部政策課 地域づくり推進室	古市	087-832-3125	087-806-0234
愛媛県	愛媛県ふるさとづくりネットワーク推進会議	790-0065 松山市宮西1-5-19	公益財団法人 えひめ地域政策研究センター	平岡	089-926-2200	089-926-2205
高知県	高知県地域づくり連絡会議	780-8570 高知市丸ノ内1-2-20	高知県産業振興推進部 地域づくり支援課	高井	088-823-9781	088-823-9258
九州・沖縄						
福岡県	地域づくりネットワーク福岡県協議会	812-8577 福岡市博多区東公園7-7(福岡県広域地域振興課内)	福岡県企画・地域振興部 広域地域振興課	新平	092-643-3179	092-643-3164
佐賀県	佐賀県地域づくりネットワーク協議会	840-0824 佐賀市呉服元町2-24 呉服元町ビル10号	NPO法人 佐賀県CSO推進機構	鈴木	0952-26-2378	0952-26-2227
長崎県	長崎県地域づくりネットワーク協議会	850-0875 長崎市栄町4-9 長崎県市町村会館内	長崎県町村会 振興課	塩井	095-827-5511	095-824-6993
熊本県	火の国未来づくりネットワーク	862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1(熊本県地域振興課内)	熊本県企画振興部地域・文化振興局 地域振興課	櫻木	096-333-2137	096-381-9001
大分県	公益社団法人ツーリズムおおいた	874-0828 別府市山の手町12-1 ビーコンプラザ内	公益社団法人ツーリズムおおいた	小山田	0977-26-6250	0977-26-6252
宮崎県	宮崎県地域づくりネットワーク協議会	880-0811 宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンシアター3F	特定非営利活動法人 宮崎文化本舗	高妻	0985-74-7075	0985-74-7076
鹿児島県	南のふるさとづくり協議会	891-1202 鹿児島市西伊敷6-34-14	南のふるさとづくり協議会	松元	090-8406-8859	
沖縄県	沖縄県地域づくりネットワーク	901-1202 沖縄県南城市大里字大里2013番地	(財)沖縄県公衆衛生協会	當眞	098-945-2686	098-945-3979

2. 地域づくり団体関係者および行政関係者以外の個人の方

お申込み・お問合せ先 **あわら温泉情報処 おしえる座あ** 〒910-4104 福井県あわら市温泉1丁目1-1
TEL 0776-77-1877 FAX 0776-77-1878 担当:九谷、小林、鈴木 営業時間9:00～18:00(全日営業)
 宿泊企画／あわらツアーデザインセンター〈旅行業登録福井県知事第3-302号〉(一般社団法人あわら市観光協会内)
 総合旅行業務取扱主任者 福島 幹雄

＜前泊のご案内＞

11月15日(金)		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1泊朝食	1名利用	—	16,500円	—
	2名利用	7,800円	8,850円	10,950円
	3名利用	6,750円	7,800円	9,900円
	4名利用	5,700円	6,750円	8,800円

※ご宿泊については、原則2名様以上でお引き受けさせていただきます。個室を希望される場合は、23ページの“相部屋の可否”の欄の否に○をつけてください。

※ご宿泊施設のタイプについては、ご希望に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。

※宿泊施設の場所については、24ページの「あわら温泉宿泊マップ」をご覧ください。

宿泊施設名	タイプ
グランディア芳泉	B C
みのや泰平閣	B
白和荘	B C
花の宿福寿	B
長谷川	A
あわらグランドホテル	C
あわらの宿八木	B
あわら温泉美松	B
清風荘	B
ホテルゆ楽	C

この用紙はお1人1枚ずつご提出ください。

第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会参加申込書

太枠内をご記入の上、平成25年**8月30日(金)**までに
郵送またはFAXでお申し込みください。

参加ご希望の方のお申し込み先

地域づくり団体関係者および
行政関係者の方

各都道府県地域づくり団体協議会
(P21、P22をご覧ください。)

左記以外の地域づくりに関心のある個人の方

あわら温泉情報処おしえる座あ(福井大会参加申込事務局)
〒910-4104 福井県あわら市温泉1丁目1-1
TEL:0776-77-1877 FAX:0776-77-1878

フリガナ		男・女	所属団体・勤務先等	
氏 名				
住 所		連 絡 先		
〒		T E L	(自宅・職場)	
		F A X	(自宅・職場)	
		E - mail	(自宅・職場)	
		緊急連絡先		
前夜祭(参加費4,000円) (いずれかに○を付けてください)		参加する ・ 参加しない		
前泊(11月15日(金)) (いずれかに○を付けてください)		前泊を 希望する ・ 希望しない		
前泊を希望する方は希望のタイプをご記入ください 例:Bタイプ3名の時 B-3		第一希望		相部屋の可否 可 ・ 否
		タイプ	利用人数	
		—		
同室希望の方	所属団体	氏 名		

◆緊急連絡先には大会期間中に万が一事故、病気にあわれた際の連絡先(電話番号等)をご記入ください。

■分科会・全体会(必ず第3希望まで○をつけてください)

	分科会名	大会参加費	16日昼食	現地経費	第1希望	第2希望	第3希望	備 考
第1	福井市(一乗・東郷)	7,000円	1,000円	10,000円				
第2	福井市(まちなか)			10,000円				
第3	福井市(越前海岸)			13,000円				
第4	敦賀市			10,000円				
第5	小浜市・若狭町			11,000円				
第6	大野市			10,000円				
第7	勝山市			10,000円				
第8	鯖江市			11,000円				
第9	あわら市			10,000円				
第10	越前市			11,000円				
第11	坂井市			10,000円				
第12	永平寺町			9,600円				
第13	南越前町			10,000円				

◆必ず第3希望まで記入してください(記入がない場合は、どの分科会でも参加可能とさせていただきます)。

◆分科会決定・お部屋割りについては、主催者に一任くださるようお願いいたします。

◆現地経費の内訳は、各分科会プログラムをご覧ください。

申込書に記載された
個人情報の取扱について

- ① 本大会の参加者名簿(当日資料・報告書)を作成するにあたり、氏名、所属団体、都道府県名を利用させていただきます。また、必要な範囲で利用施設に情報提供させていただきます。
- ② 本大会の受付・請求等の業務は、あわら温泉情報処おしえる座あに委託しております。

味わい学ぶ「ふくい 味の週間」

期間／平成25年11月10日(日)～17日(日)

「ふくい 味の週間」とは…

越前がに、サトイモ、ソバなど福井のおいしい食材が豊富なこの時期、11月の第2日曜日から第3日曜日を「ふくい 味の週間」とし、全国に誇れるおいしい福井の食を発信します。



- 小中学校における「味覚の授業」の実施
- 高校生・大学生、妊産婦等の食育実践活動推進
- 飲食店等と連携した協賛フェアの実施



味覚の授業



ふるさと知事ネットワーク交流コーナー



全国高校生食育王選手権大会

「ふくい 味の祭典」の開催

期間／平成25年11月16日(土)、17日(日)

場所／福井県産業会館

内容(予定)／

- 県内の農産物直売所による新鮮な農産物の販売
 - 福井が誇る「越前おろしそば」の食べ比べ
 - 「ふるさと知事ネットワーク」参加県のご当地食材の販売
 - 学力・体力ともに全国トップクラスの子供達を育ててきたおいしい学校給食の販売
 - あたたかいカニ鍋・フグ鍋や焼き鯖の販売
 - 食育日本一を決定する「全国高校生食育王選手権大会」の開催など
- ※内容につきましては、変更となる可能性がございますので、御了承下さい。

あわら温泉宿泊マップ





明通寺(小浜市)



敦賀港(敦賀市)



瓜割の滝
(若狭町)



羽根笠踊り
(南越前町)

お問い合わせ

第31回 地域づくり団体全国研修交流会福井大会実行委員会

TEL.0776-20-0747 FAX.0776-20-0631

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号(福井県総務部市町振興課内)